

筑波大学医療科学類・海外の学生が 放射線治療棟・陽子線医学利用研究センターを見学

2023年2月23日（火）2022年度国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）で筑波大学医学群医療科学類の学生14名と海外からの学生13名が放射線治療棟と陽子線医学利用研究センターを見学しました。

さくらサイエンスプログラムは、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が行っている事業で、産官学の連携により日本の青少年と海外の国・地域の青少年との科学技術分野の交流を通して、優秀な人材の育成や友好関係の強化に貢献し今後の科学技術の発展に寄与することを目的としています。

当日は、日本人の学生と海外の学生が一緒になって放射線治療や陽子線治療の原理や治療法についてのレクチャーを受けた後、実際に施設内を見学し交流を深めました。

参加者：医学類医療科学類の学生 14名

海外からの学生 13名（インドネシア6名、ベトナム4名、台湾3名）

陽子線医学利用研究センター

